



小学校

英語活動ニュース

『平成 24 年度 授業づくりセミナー』英語活動に参加して

大阪府教育委員会 小野扶美彦指導主事を指導者に招へいし、大阪狭山市教育委員会が主催する平成 24 年度『授業づくりセミナー』が、4 回にわたって実施されました。この研修会に、私たち『大阪狭山小学校英語活動支援の会』（以後「支援の会」）も参加させていただきました。

本市の小学校英語活動に『支援の会』がかかわることになって、3 年が過ぎようとしています。先生方との Team Teaching を通して、共に工夫を凝らして、楽しい活動を実施しています。このように各学校の先生方と市民参加の NPO とが、週に 1 度、授業を展開し、共に同じ目的に向かって協力しあっている例は、全国的に見ても特筆すべきものだという評価をいただきました。

10 月の『授業づくりセミナー』では、今年度の授業実践をどのように次年度からの英語活動へつないでいくかが話題になりました。このことは、それぞれの学校の課題でもありますが、私たち『支援の会』の課題でもあります。

『支援の会』では、支援者が実施した活動例を共有するために、毎月例会を開催し、勉強会を開いています。今後は、この例会に小学校の先生方にご参加していただくことができれば、さらに中身の充実した実践研究会に進展していくものと思います。ちなみに例会は、土曜日です。

小野扶美彦先生から、「中学生になった子どもたちは、すでに『Hi, friends!』で、いろんな表現を、音声を通して学んで来ています。この実態の共有化を図り、中学校でも英語を楽しく学び、将来、英語を考えて使える日本人として一人でも多く育てて行ってほしい」と助言されていました。

『ほめる言葉』集

11 月 20 日の『天声人語』に、「故平山郁夫画伯が、体調が悪い中『仏教伝来』を描いて院展に出品したとき、美術評論家河北倫明氏に平山氏の絵を「おもしろい味がある」とわずか 2 行だけほめていただき、それが励みになって以後頑張ることができたのだ」とありました。

『授業づくりセミナー』でも、小学校の先生の英語活動で実施している「子どもを褒める」ことを、他の授業でも心がけているというお話がありました。そこで、英語のほめる（励ます）言葉を集めました。

正解です。	That's right!	いいアイデアですね。	Good idea!
よくできました。	Good! / Great! / Good job! / Well done!		
素晴らしい。いいね。	Wonderful! / Excellent! / Fantastic! / Perfect!		
おめでとう。	Congratulations	ありがとう。	Thank you! / Thanks (a lot) .
彼／彼女に拍手をしましょう		Let's give [him/her] a big hand.	
よくがんばったね。	Nice try! / Good try.	惜しい。	Close! / Almost!
君ならできるよ。	You can do it.	それでいいよ。	That's good!

外国語活動新教材

“Hi, friends!”について

<外国語活動を通して目指す子ども像>

- タイトル Hi, friends! に込められた思い

この地球に住む誰もが笑顔であいさつできれば
平和な世界がやってくるのではないが
- 表紙に込められた思い

Hi, friends! 1
主人校のさくらやたくが船にのって**世界へ旅立つ**様子が描かれています。また、リングを数えるなど、本編中の活動の様子も盛り込まれています。

Hi, friends! 2
外国の友だちや桃太郎も加わり、より**国際色豊か**になっています。船は、**自分たちの生まれ育った地域、国に属して**きて、ふるさとのよさに気付かせてくれます。

<Hi, friends!の紙面について>

- 児童が活動をやってみたくなるように**見開きページ**を多く設定しています。
- 先生方が外国語活動の授業のイメージをもちやすいように、授業の場面を取り入れています。
(例 Hi, friends! 1 Lesson 5 など)
- 子どもたちの**学習の足跡**を残せるように、記録ページを用意しています。
「ぼくの、わたしの Hi, friends!」になります!
- 歌やチャンツを再現できるよう、歌詞をイラストで表現しています。外国語活動は音声中心ですが、子どもだけでも歌やチャンツを再現できることが期待されます。
- 絵本（ももたろう）を収録しています。
→**文字を読ませる**、ということではないので**注意!**

日本語の読み聞かせと同様、外国語活動でも絵本に文字があることは自然なことです。

<Hi, friends!の活動の構成>

Let's Listen

- ・設定語彙や表現を繰り返し聞き、外国語に慣れ親しむ。
- ・日本（語）と外国（語）の共通点や相違点から、様々な見方や考え方があり、言葉の面白さや豊かさに**気付く**。

Let's Play
Let's Sing / Chant

- ・設定された語彙や表現を繰り返し聞いたり、言ったりして、外国語に慣れ親しむ。
- ・日本（語）と外国（語）の共通点や相違点から、様々な見方や考え方があり、言葉の面白さや豊かさに**気付く**。

Activity

- ・友達と慣れ親しんだ語彙や表現を使って、**コミュニケーションを図る**。

<デジタル教材について>

- 動画
世界の様々な国の子どもたちの様子、学校生活の様子、世界の様々な生活の様子を収録しています。
- スキット実写版
同年代の子供たちが、設定された表現等を使っている動画を収録しています。
- ネイティブスピーカーの口元の拡大映像
ALTが来校できない場合に活用できます。
- チャンツは、速度を2段階設定（ふつう・ゆっくり）
カラオケバージョンもあります。
カラオケには画像を入れていないので、単語を入れ替えて、オリジナルチャンツで行うことも可能です。
- 600枚の絵カード
大小でのプリントアウトが可能
文字あり・なしの設定が可能
色あり・なしの設定が可能
ワークシートも収録

『第9回全国小学校英語活動実践研究会』の予定

文部科学省、京都府教育委員会、京都市教育委員会が後援する『第9回全国小学校英語活動実践研究会』（平成25年2月8日・9日実施）の2次案内が発表されています。

昨年は、鳴門市で開催され、私たちの会からも4人が出席し、英語活動の現状を知る良い機会となりました。本年は、京都市立竹田小学校、同大宅小・中学校、同広沢小学校、大谷大学において、公開授業、全体会、分科会が開催されます。分科会では、①新教材『Hi, friends!』を生かした指導の在り方、②評価の在り方、③小中連携による効果的な外国語活動の指導のあり方、全体会では文部科学省教科調査官 直山木綿子先生の講演があります。参加申し込みが必要で、受付中です。

「小4以下も英語必修 文科省検討 指導法を研究」日本経済新聞（H.24/11/19）より

「文部科学省は小学校低学年から英語を必修にする検討を始める。昨年度から小学5・6年生で必修化したところだが、社会のグローバル化に対応してより早い段階から発音などに慣れ、コミュニケーション能力を高める必要があると判断した。2013 予算の概算要求に調査研究費 2500 万円を計上した。13 年度に専門家会議を設け、実施学年や効果的な指導法を研究する。専門家会議が13 年度中にまとめる報告を踏まえ、14 年度にも中央教育審議会に諮問。次の学習指導要領の実施に合わせ、小4以下でも必修化したい考えだ。」（以下略）

編集後記 H.24年もあとわずかになりました。先生方のお陰で、私たち『支援の会』との Team Teaching もスムーズに実施できていることを実感しています。大阪市では、H.25 年度に、小1から導入する予定です。英語活動が、さらに楽しく、充実したものになるように、歌やゲームの紹介などに取り組んでまいります。（石井）

